

横浜から世界へ羽ばたく

若きピアニストたちの国際ピアノ・フェスティバル



# 第37回 横浜市招待国際ピアノ演奏会

## YOKOHAMA INTERNATIONAL

# Piano Concert



© Candian Lee

ジョージ・ハリオノ  
George Harliono (UK)



© Shigeto Imura

藤田真央  
Mao Fujita



Jeremy Bulow The Clubbun

ケニー・プロバーグ  
Kenny Broberg (USA)



實川風  
Kaoru Jitsukawa

2018.11.17 [土]

14:00開演 (13:30開場)

横浜みなとみらいホール 小ホール  
Yokohama Minato Mirai Hall, Small Hall

全席指定

一般 4,000円

Miraist Club 会員 3,500円

65歳以上の方 3,800円

学生・障がい者手帳をお持ちの方 2,500円

※各種割引については、横浜みなとみらいホールチケットセンター窓口及び電話のみ取扱い  
※就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

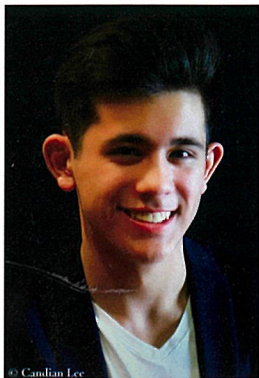
チケット取扱い・お問合せ

- 横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000  
(電話予約10:00~17:00 / 窓口11:00~19:00 休館日・保守点検日を除く)
- チケットセンターWEB <http://minatomirai.pia.jp/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> 0570-02-9999 [Pコード:111-696]

好評発売中

主催:横浜みなとみらいホール(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 共催:横浜市  
協賛:日本マクドナルド株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、日本ゾーディアック株式会社、mokuren  
後援:ブリティッシュ・カウンシル、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)  
企画:横浜市招待国際ピアノ演奏会企画委員会





2001年生まれ。9歳で初のソロ・リサイタルを行う。その後、ウィグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホール、ロイヤル・アルバート・ホール、モスクワ音楽院大ホールなどでも演奏。

モスクワ国立交響楽団、ヴァレリー・ゲルギエフ指揮

マリインスキー劇場管弦楽団と共演したほか、ウラディーミル・アシュケナージや、ラン・ラン、デニス・マツエフなど著名なピアニストとも共演している。

全4年間の奨学金を得て、2017年9月にロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックで学位を取得した。

- バッハ: プレリュードとフーガ 第2番 ハ短調 BWV847 ■ ラフマニノフ: 前奏曲 作品23-2 変ロ長調  
 ■ ショパン: バラード第1番 ト短調 ■ リスト: 超絶技巧練習曲 第11番 変ニ長調「夕べの調べ」  
 ■ リスト: ハンガリー狂詩曲 第6番 変ニ長調

- Bach: Prelude & Fugue No. 2 in C Minor, BWV847 ● Rachmaninoff: Prelude Op.23 No.2 in B-Flat Major  
 ● Chopin: Ballade No.1 in G Minor, Op. 23 ● Liszt: 12 Etudes d'execution transcendante, S139/R2b: No. 11 in D-Flat Major, "Harmonies du soir"  
 ● Liszt: 19 Hungarian Rhapsodies, S244/R106: Rhapsody No. 6 in D-Flat Major ※当初の曲目から一部変更になりました。

藤田真央 Mao Fujita



1998年東京都生まれ。3歳からピアノを始める。2017年、東京音楽大学1年在学中に、第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールで優勝。併せて4つの特別賞を受賞。

これまでに、東京都交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、ユタ交響楽団、ローザンヌ室内管弦楽団、マカオ管弦楽団等のオーケストラなどと共演。

ルール音楽祭、ショパン国際音楽祭(ポーランド)、世界の

アッジ音楽祭(イタリア)、バート・ラガッツ次世代音楽祭(スイス)などの音楽祭に招待されリサイタルを行っている。

また2018年夏にはヴェルビエ音楽祭にアカデミー生として参加した。

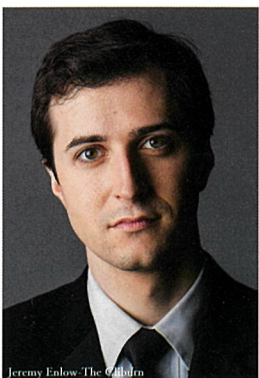
CDはナクソス・ジャパンからリリース。

現在、特別特待奨学生として東京音楽大学2年ピアノ演奏家コース・エクセレンスに在学中し研鑽を積んでいる。

- リスト: 「巡礼の年 第2年 イタリア」よりペトルルカのソネット第104番  
 ■ スクリャービン: ピアノソナタ 第2番「幻想ソナタ」 ■ プロコフィエフ: ピアノソナタ 第7番「戦争ソナタ」

- Liszt: Annees de pelerinage, 2nd year, Italy, S161/R10b: No. 5 Sonetto 104 del Petrarca ● Scriabin: Piano Sonata No. 2 in G-Sharp Minor, Op. 19, "Sonata-Fantasy"  
 ● Prokofiev: Piano Sonata No. 7 in B-Flat Major, Op. 83

ケニー・プロバーク Kenny Broberg



1993年アメリカ・ミネアポリス生まれ。第15回ヴァン・クライバーン国際コンクール第2位。現在全米及びヨーロッパでもリサイタルやオーケストラとの共演を予定している。ヘイスティングス国際、シドニー国際他有数のコンクールで入賞。

ソリストとしてロイヤル・フィル、ミネソタ管、シドニー

響などのオーケストラと共演。指揮者はルドヴィック・モルロー、レナード・スラットキン、ニコラス・ミルトンなどと共演している。クライバーン・コンクールライブ音源によるデビューアルバムがデッカ・ゴールドよりリリースされた。

- バッハ: トッカータ ハ短調 BWV911  
 ■ バーバー: ピアノソナタ 変ホ短調 作品26

- J.S. Bach: Toccata in C Minor, BWV 911  
 ● Barber: Piano Sonata in E-flat Minor, Op. 26

實川風 Kaoru Jitsukawa



2016年、カラーリオ国際ピアノコンクール(イタリア)にて第1位受賞。2015年、ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール(フランス)にて、1位なしの第3位、最優秀リサイタル賞、最優秀新曲演奏賞を受賞。海外の音楽祭への招待には、上海音楽祭、ソウル国際音楽祭、ノアン・ショパンナイト(フランス)、アルソノーレ(オーストリア)がある。

これまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交

響楽団、東京ニューシティ管弦楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などのオーケストラと共演。東京藝術大学附属高校・東京藝術大学を首席で卒業。同大学大学院(修士課程)修了。

山田千代子、御木本澄子、多美智子、江口玲の各氏に師事。グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエイト課程にて、マルクス・シルマー氏に師事。

- ドビュッシー: 版画  
 ■ フランク: 前奏曲、コラールとフーガ ロ短調

- Debussy: Estampes  
 ● Franck: Prelude, choral et fugue, M. 21



# 横浜市招待国際ピアノ演奏会について

「横浜市招待国際ピアノ演奏会」は、常に新しい文化を取り入れ発信してきた横浜にふさわしく、世界中から将来を嘱望される才能を発掘し、広く紹介することを目的として、1982年に始まり、今年で37回目となります。

国際的なピアニストであった故・山岡優子先生の、世界の芸術家たちを育てていこう、という強い熱意によって開催されることになったのが始まりです。

これまでに紹介してきた新進気鋭のピアニストたちは延べ190人に及び、今や世界的アーティストとして活躍する錚々たる顔ぶれも多く、この演奏会が果た

してきた役割の大きさを実証すると同時に、演奏会への出演が、世界の若きピアニスト達の目標のひとつともなっています。

今回も才能にあふれた多数の応募者の中から4名のピアニストたちが選ばれ、多彩なプログラムが並びました。どうぞそれぞれの音楽に耳を傾け、温かく応援していただけますと幸いです。



企画委員会／委員長  
海老彰子

企画委員会／委員長：海老彰子  
委員：堀了介、弘中孝、須田真美子、伊藤恵

## 特別レクチャー

2018.11.17(土) 10:10開場 10:30～12:45

横浜みなとみらいホール 6階レセプションルーム

参加  
無料

横浜市招待国際ピアノ演奏会にちなみ、ピアノ演奏などに役立つ特別講座を開催します。

自らもピアニストとして演奏を追及し続けている安井耕一氏と、昨年の講座が大変好評を博した古屋晋一氏による各1時間の講座です。2つの講座で多角的に演奏法にアプローチします。

### お申し込み

原則として2講座とも聴講できる方が対象です。

ご希望の方は事前に横浜みなとみらいホールチケットセンターへお電話(045-682-2000)にてお申し込みください。

(就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください／定員になり次第締め切り)



安井耕一

### 1時間目

ピアニストの発声練習～美しい楽音へピアニストが当面するタッチの諸問題について

講師：安井耕一

#### 【プロフィール】

札幌市生まれ。東京藝術大学音楽学部卒業。ピアノを横谷瑛司、水谷達夫の各氏に師事。

1977年から85年までリュウベック音楽大学でコンラート・ハンゼン教授のもとで研鑽を積む。

帰国後はソロ、室内楽等で演奏活動を重ねる他、音楽工房「響」を主宰し定期的に公開講座を行う。

かつてのヨーロッパの美しい音を奏法として伝え得る数少ない存在である。

1993年～2007年まで東京藝術大学非常勤講師、2006年～2016年まで国立音楽大学及び大学院教授を務める。



古屋晋一

### 2時間目

表現の未来を生み出す練習

講師：古屋晋一

#### 【プロフィール】

ソニーコンピュータサイエンス研究所(SONY CSL)文部科学省卓越研究員、

ハノーファー音楽演劇大学音楽生理学・音楽家医学研究所客員教授、上智大学特任准教授、

京都市立芸術大学・東京音楽大学・エリザベト音楽大学講師、青山財団未来構想委員、博士(医学)

ピアニストたちと話してみよう! きいてみよう!

2018.11.16(金) 16:30開場 17:00~18:00

横浜みなとみらいホール 小ホール

対象 小学生・中学生(未就学児不可)

参加  
無料

お申し込み

ご希望の方は事前に横浜みなとみらいホールチケットセンターへ  
お電話(045-682-2000)にてお申し込みください。  
(就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください/定員になり次第締め切り)

11月17日公演に出演する若き4名のピアニストと、こどもたちとの交流イベント。  
ピアノに関する疑問を直接質問してみましょう。  
また、演奏を間近で聴いて感じてみましょう。  
ピアノが大好きな人、ピアノをもっと知りたい人、将来ピアニストになりたい人など、  
ピアノに興味がある皆様のご参加をお待ちしています。

参加ピアニスト(予定)

ジョージ・ハリオノ、藤田真央、ケニー・プロバーク、實川風  
※当日は通訳がつきます。



昨年のイベント風景より

©藤本史昭

- ・やむを得ぬ事情により出演者・曲目等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・チケットは如何なる場合(紛失・盗難・破損等)も再発行いたしません。
- ・お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更・払い戻しはいたしません。
- ・公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

### Miraist Clubのご案内

Miraist Club(みらいすとクラブ)メンバーはホール主催公演などのチケットの割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典を毎月お楽しみいただけます。ぜひ資料をご請求ください。  
横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000(10:00~17:00)

### 託児サービス

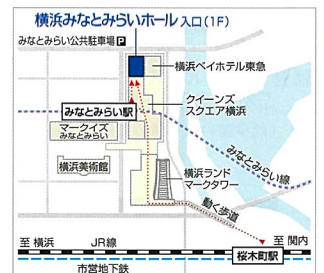
生後6ヶ月から小学生までのお子様を、お預かりする託児サービスがございます。  
予約制:先着10名様・お一人様2,100円(税別)。公演の3ヶ月前から5日前までの予約受付。

### お問合せ・ご予約

株式会社 明日香(あすか) 0120-165-115(9:00~17:00)  
通話料無料で携帯電話・PHSからもご利用いただけます。  
※フリーダイヤルがつかない場合03-6912-2125(通話料有料)

### 交通のご案内

- みなとみらい駅(東急東横線直通みなとみらい線)下車、徒歩3分。  
「クイーンズスクエア横浜連絡口」改札(地下3階)より左方向。クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター(赤)を1階まで上がり左方向、クイーンモール左奥。
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、徒歩12分。みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由(3階から1階へ)でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。



横浜みなとみらいホール 〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-3-6 TEL:045-682-2020 FAX:045-682-2023  
【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】 <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php> @yokohamammh



ドナルド・マクドナルド・ハウス  
チャリティーズ・ジャパン

## 病気と闘う子どもとその家族のための滞在施設 「ドナルド・マクドナルド・ハウス」をご存知ですか?

いつでも家族がそばにいる。病気と闘う子どもたちにとって、それほど心強いことはありません。  
ささやかな、でも幸せな時間。そこは、病気と立ち向かう家族と子どものための滞在施設です。



みなさんの善意に支えられているハウス。  
ドナルド・マクドナルド・ハウスは、病気と闘う子どもに付き添う家族のための滞在施設。現在、日本には東京都(3カ所)、宮城県、高知県、大阪府、栃木県、北海道、愛知県、福岡県、兵庫県、埼玉県にあります。けれど難病と闘う子どもたちは、現在約14万人。まだまだ足りないのが現状です。



自然に会話が生まれる共同使用のキッチン。  
ドナルド・マクドナルド・ハウスのキッチンは共同使用。それは、看病をするご家族同士が自然と会話する場を提供することで、悩みや辛さを一人で抱え込まないようにしてほしいから。同じ理由で、テレビも各ベッドルームには置いていません。



まるで自宅のようにすこせるベッドルーム。  
ドナルド・マクドナルド・ハウスは、企業・個人からの寄付や募金とボランティアによって運営されているため、1日1人1000円。病院のそばにいて子どもを安心させてあげられるだけでなく、付き添う方自身の、精神的・経済的な負担もやわらげます。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.dmhcj.or.jp/>

※読み取り環境や端末の性能などにより読み取りができない場合がございます。



マクドナルドは「ドナルド・マクドナルド・ハウス財団」をサポートしています。